

JFS-A/B規格

コンサルティング & 監査のご案内

HACCP対応・JFS規格取得でお悩みの中小食品事業者・
油脂製造事業者の皆様へ

「自社での対応が難しい」とお困りではありませんか？

公益財団法人日本食品油脂検査協会が、JFS-A/B規格の導入から適合
証明、関連する試験・検査までワンストップでサポートいたします！

JFS規格は、一般財団法人食品安全マネジメント協会（JFSM）が開発・運営している日本発の
食品安全マネジメント規格です。

日本の食品事業者の実情に合わせて作られており、現場に馴染みやすいのが特徴です。

（詳細はこちら：一般財団法人食品安全マネジメント協会 公式HP <https://www.jfsm.or.jp/>）

JFS規格 適合証明取得のメリット

- HACCP、GMP（適正製造規範）に加え、FSM（食品安全マネジメントシステム）も構築可能！
- FSSC 22000などの国際規格と比較して低コストで導入可能！
- コンサルティングと同じ会社で監査が受けられるため取り組みやすい！
- 従業員の衛生意識の向上や、不適合製品・クレームの減少に繋がります！

当協会が選ばれる理由

- 専門家によるサポート
- 実益を生む仕組みづくりをご提案
- 試験・検査機関の強みを活かした連携が可能

公益財団法人日本食品油脂検査協会

〒103-0007 東京都中央区日本橋浜町3-27-8

URL <https://www.syken.or.jp/>

TEL : 03-3669-6723

お問い合わせフォーム

右のQRコードを読み込んで
ください



適合証明取得までの流れ

1. お問い合わせ：まずはお気軽にお問い合わせフォームよりご連絡ください。

2. 現状確認・無料相談：お客様の現状の食品安全管理体制を確認します。

3. コンサルティング・導入支援：現状に基づき、無理のない計画を策定し、現場に合わせた仕組みづくりを支援します。

4. 適合証明監査：構築された体制が規格に適合しているかを評価し、適合証明書を発行いたします。

当協会では、JFS-A/B規格のコンサルティングや適合証明監査に加えて、油脂の精製・加工工程における各種試験・検査を実施しております。

(油脂類における主な関連試験)

【工程における生成が懸念される物質】 3-MCPD脂肪酸エステル、グリシドール脂肪酸エステル、トランス脂肪酸 など

【酸化・劣化】 酸価、過酸化物価、アニシジン価、カルボニル価、発煙点、引火点、動粘度 など

【工程残存物質】 たんぱく質、セッケン、ヘキサン など

【残留農薬・PCB・PAHs】 総BHC、総DDT、総ドリン、PCB、多環芳香族炭化水素 (PAHs) など

【重金属】 ひ素、鉛、カドミウム、ニッケル など

【酸化防止剤】 BHA、BHT、TBHQ など

(注目度の高い詳細分析) ※個別のご案内資料がございます

・3-MCPD / 2-MCPD / グリシドール脂肪酸エステル分析 (基準油脂分析試験法、AOCS Official Method などに対応)

・トランス脂肪酸分析 / 脂肪酸の定量・組成分析

・各試験・検査の詳細な項目、対象品、納期、料金等につきましては、お問い合わせください。